

2024.6.15

NPOフォーラム だより No.111



NPO法人安房文化遺産フォーラム（共同代表：愛沢伸雄, 池田恵美子）

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX：0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <https://awa-ecom.jp/bunka-isan/>

会員・寄付募集中！ 年会費=正会員 A:10,000 円（総会議決権あり）・準会員 B:2,000 円・法人 10,000 円
（ゆうちょ銀行口座：00260-1-97307 名義 NPO法人安房文化遺産フォーラム）

◆ 第 83 回 知恵袋講座 ◎ 知恵袋講座は、NPO メンバーが講師となって、楽しく学び語り合う茶話会です。

6月23日（日）13:30～16:00 菜の花ホール 参加費：会員 200 円・非会員 500 円（茶菓子・資料つき）

テーマ：房総里見氏の歴史と紙芝居『南総里見八犬伝』 語り手：鈴木よし江さん



『南総里見八犬伝』は知られていても、そのモデルとなった房総里見氏の歴史を知る人は多くありません。170 年にわたり安房を治めた里見氏は、城を転々と移しながら、戦と和平を繰り返しました。1614 年の改易で伯耆国に移封されてから 200 年後、曲亭馬琴が 28 年かけて執筆した『八犬伝』は江戸のベストセラーとなりました。

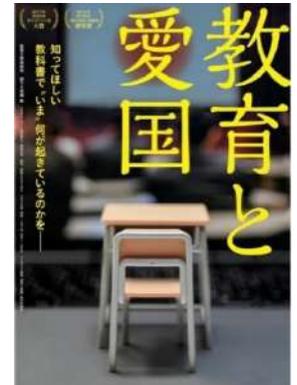
全国里見一族会のメンバーでもある鈴木よし江さんは、日本一長編小説『南総里見八犬伝』106 巻を読破した語り部でもあり、NPO の古文書チームとしても活躍しています。今回はご本人自作の、名場面『対牛楼の巻』の紙芝居もお楽しみいただけます。乞うご期待！

◆ 映画『愛国と教育』上映会 参加費 500 円（高校生以下無料）

6月29日（土）館山市コミュニティセンター 第1集会室

13：30～15：17 上映 15：30～16：30 懇談会

毎日放送で長年にわたり教育現場を取材してきた齊加尚代監督が、最新の教育事情を記録したドキュメンタリー。戦前の軍国主義への反省から、戦後の教育は常に政治と切り離されてきましたが、2006 年の教育基本法改正では「愛国心」が盛り込まれました。それ以降、教育改革・教育再生の名のもとに、教科書検定制度が目に見えない力を増しています。教科書の編集者や執筆者へのインタビュー、慰安婦問題など加害の歴史を教える教師や研究者へのバッシングなどを通して、教育現場に迫る危機を描き出しています。



◆ 2024 年度 NPO 総会 ◆

7月7日（日）13:00～14:50

菜の花ホール 1F集会室

対象のA会員には案内状を同封します。

※ NPO は 2 種の会員制としています。

正会員（A）：総会議決権あり
年会費 10,000 円

準会員（B）：年会費 2,000 円

（会費未納の方は、お振込または役員にお預けいただくか、当日お支払い下さい）

◆ NPO 設立 20 周年の集い ◆

7月7日（日）15:00～16:30

菜の花ホール 1F集会室

※ A・B会員とも参加することができます。

2004 年 1 月 13 日に NPO 法人設立総会を開き、5 月に県知事の認証を受けました。同年 4 月から赤山地下壕跡が公開され、8 月に第 8 回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会を開催しました。あれから 20 年をふりかえり、ともにこれからを語り合い、親睦を深めましょう。ふるってご参加ください。

＜NPO 法人安房文化遺産フォーラム 20 年のあゆみ＞

NPO 活動の原点は、1994 年に高校世界史教諭の愛沢伸雄さんが「かにた婦人の村」を訪問し、戦争遺跡や「噫従軍慰安婦」碑に出会ったことを契機として、地域教材を活用した授業を実践しました。やがて公民館講座を通じて、戦跡の保存運動が市民に広がり、「戦跡保存調査サークル」が発足。『南総里見八犬伝』の舞台として登場する稲村城跡が市道計画によって破壊寸前となり、1996 年に「里見氏稲村城跡を保存する会」が発足。この 2 つを母体として、2004 年に NPO 法人が設立されました。

文化財の保存を求める市民運動は、大房岬要塞群（南房総市指定史跡）・赤山地下壕跡（館山市指定史跡）はじめ、里見氏稲村城跡・岡本城跡（国指定史跡）、小高記念館・小原家住宅（国登録文化財）、小谷家住宅（館山市指定文化財）などを実現させました。安房高校との統合により使用されなくなった安房南高校の旧第一校舎（千葉県指定文化財）については、＜安房高等女学校木造校舎を愛する会＞を立ち上げて環境保全や公開に協力してきました。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災でガイド活動は激減したものの、「戦後 70 年」の 2015 年 9 月に第 19 回戦争遺跡保存全国シンポジウム館山大会を開催し復活の兆しとなりました。ところが、2019 年 9 月 9 日の大型台風で NPO は事務所を 2 つ失い、赤山地下壕は豪雨のたびに休壕を繰り返しました。2020～22 年は新型コロナウイルス蔓延により、学校や団体のツアーも自粛されました。昨 2023 年夏には赤山地下壕内で一部崩落があり、修復と壕内点検等のため、再三の休壕が続いています。

台風被災後は、全国から駆けつけてくださったキリスト教の国際ボランティアの皆さんと協働して、「安房フォーラム支援隊」活動を実践。さらに、台風で散乱水没した調査中の古文書を回収し、冷凍・解凍・圧縮を繰り返して原状回復させた後、研究チームを立ち上げて 530 枚を解読し、明治期に太平洋をわたった房総アワビ漁師の渡米前を明らかにすることができました。

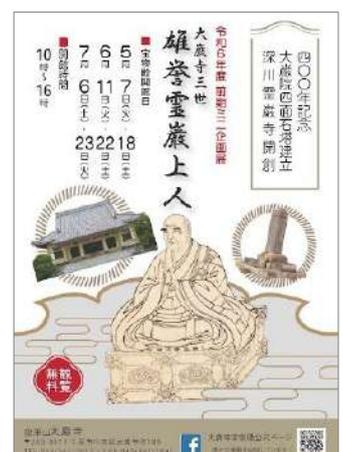
これらはほんの一部ですが、こうして山あり谷ありの 20 年の間、かにた婦人の村や年金者組合安房支部はじめ諸団体と連携を図りながら、ウガンダ支援・日米・日韓交流、安房地域母親大会など、地道な草の根活動も多岐にわたり継続してきました。ひとえに皆様のおかげと感謝しております。

予告 **ハングル「四面石塔」400 年記念シンポジウム** 11 月 9 日(土)

館山市の浄土宗・大巖院にある「四面石塔」は、1624（元和 10）年に雄誉霊巖上人によって建立され、東西南北の各面に和風漢字・中国篆字・印度梵字・朝鮮ハングルで「南無阿弥陀仏」と刻まれています。時代背景から、秀吉の朝鮮侵略に関わり、戦没者供養と平和祈願をこめられたと推察されます。

建立 400 年記念に 2024 年 11 月 9 日、午前は大巖院で見学会と李政美（イ・チョンミ）さんの奉納コンサートを、午後は南総文化ホールでシンポジウムの開催を計画しています。企画内容や参加方法等の詳細は後報します。

「四面石塔」の詳細や、2002 年の日韓交流年に館山で開催したシンポジウム「ハングル四面石塔のなぞ」のニュース動画は、NPO ホームページから見られます。 (QR▶)



＜関連行事①＞

年金者組合安房支部 歩こう会
7 月 18 日 (木) 9:00～14:00
 参加費 500 円・弁当持参
 集合:南総文化ホール～大巖院「四面石塔」～磨崖仏～大網砲台跡～小原家住宅(国登録文化財)～昼食交流会

＜関連行事②＞

雄誉霊巖上人企画展 in 大巖寺
 (千葉市中央区大巖寺町 180)
6/22(日) 7/6(土) 23(火) 10～16 時
 入場無料／大巖寺宝物殿
 蘇我駅前から淑徳大学スクールバスに乗車可。会場は大学隣の大巖寺宝物殿。

～ 第1回 安房大神宮の森 風土・歴史フォーラム ～

環境土木の専門家である高田宏臣さん（館山市森づくり大使・NPO 法人地球守顧問）の呼びかけにより、安房神社周辺の広範囲にわたる森で、古道や水源・棚田などの再生整備をし、人間と自然が共生する森を共有財産（コモン）として未来に手渡そうという壮大なプロジェクトが進められています。さらに活動拠点として、縄文大工の Jomon さんこと雨宮国広棟梁の指導により、縄文小屋の制作に取り組みました。能登半島の真脇遺跡に建てた縄文小屋は、元旦の震度7にも倒壊しなかったといい、高度な免振技術であったことが証明されました。

NPO 法人安房文化遺産フォーラムはこの理念に賛同し、プロジェクトの構想や経過報告とともに安房の歴史を学ぶ「第1回安房大神宮の森 風土・歴史フォーラム」を共催しました。当日の様子は NPO のホームページあるいは YouTube チャンネルから動画をぜひご覧ください。

<https://youtu.be/Uy3veUuWY6s> ▶



▲ 池田恵美子さん・高田宏臣さん・雨宮国広さん

<縄文小屋づくりの過程>



▲ 丸太の下部を焼いて炭化した柱を埋めると土中の水流が滞らない



▲ 高田さんと愛沢さんと NPO メンバーたち



▲ 楕円形のほぞ穴で骨組を作り、茅を差し込んで葺く ▼



【著書紹介】

高田宏臣さん ▲
『土中環境』
『よくわかる土中環境』
雨宮国広さん ▶
『ぼくは縄文大工』



◇ 壕シンポジウム：沖縄陸軍病院南風原壕のこれから

7月14日(日) 14:00~16:00 会場：沖縄県南風原町立中央公民館 黄金ホール 参加費無料

全国に先駆けて戦争遺跡として文化財指定となった「沖縄陸軍病院南風原壕」。医療設備や薬品が不十分ななか、軍医・看護婦・衛生兵・ひめゆり学徒らがここで傷病兵の治療にあたり、米軍侵攻に伴う南部撤退の際には、連れて移動できない重症患者は自決を強要されたといひます。

南風原町が病院壕の本格的な調査を開始してから 30 年目にあたり、これまでの実践をふりかえりながら、現在かかえる課題を見つめ直し、今後のあり方を考える機会として企画されました。当 NPO で戦跡を活用したエコミュージアムの取り組み「館山まるごと博物館」について紹介します。

- ・ 基調講演／吉浜忍（南風原町文化財保護委員長、元沖縄国際大学教授）
池田榮史（國學院大學教授）
- ・ 事例報告／池田恵美子（NPO 安房文化遺産フォーラム共同代表）
久貝弥嗣（宮古島市教育委員会）
井出佳代子（南風原平和ガイドの会会長）
保久盛陽（南風原文化センター学芸員）
- ・ パネルディスカッション

▼申込・詳細



◇ 歴史教育協議会全国大会 第75回 東京大会 大会テーマ「地域に根ざし、平和・人権・命をつなぐ」

8月3~4日(土日) 会場：明治大学和泉キャンパス・ハイブリッド集会(オンライン視聴可)

参加費：会員・教員 5,500 円(当日 6,000 円)、市民・学生 1,500 円(当日 2,000 円)、※現地見学は別途

大会日程 ★ NPO 池田恵美子共同代表は、8/3(土)に<⑧平和教育分科会>と<地域に学ぶ集い>にて報告予定。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8月3日(土)			全体会				分科会 I★			★地域に学ぶ集い			
8月4日(日)		分科会 II			分科会 III		閉会集会						
8月5日(月)													現地見学 A・B・C・Dコース

▼申込・詳細



<全体会> 記念講演：加藤圭木(一橋大学社会学教授)『「日韓」のモヤモヤから出会った新たな世界』

<分科会> ① 地域の掘りおこし ② 日本前近代 ③ 日本近現代 ④ 世界 ⑤ 憲法と現代の社会

- ⑥ 思想・文化・文化活動 ⑦ 現代の課題と教育 ⑧ 平和教育 ⑨ 幼年・小学校低学年 ⑩ 小学校3・4年
⑪ 小学校5年 ⑫ 小学校6年 ⑬ 地域の中の子どもたち ⑭ 学校地理 ⑮ 学校歴史 ⑯ 中学校公民
⑰ 高校 ⑱ 大学 ⑲ 障がい児教育 ⑳ 父母市民の歴史学習 ㉑ 社会科の学力と教育課程 ㉒ 授業方法

<地域に学ぶ集い> ① 昭和天皇の戦中・戦後を最新資料で検証する ② ぼくと歩いて考える新宿・柏木

- ③ 房総半島先端部の地震隆起と戦跡・平和交流を学ぶ ④ 関東大震災と千葉県・船橋・習志野から考える
⑤ 私たちのモヤモヤ、みなさんのモヤモヤ ⑥ 歴史家・歴史教育家高橋碩一と砂川闘争
⑦ 絵本で平和を語る ⑧ 教科書問題 ⑨ 日韓交流 ⑩ 日中授業交流

7/11 まで

平和を願い、世界中で愛を歌い続ける歌手・美地さんより

クラウドファンディングご協力をお願い ~平和への伝言~



ベトナムのドクさんの願い、帰還できなかった日本兵の祈りを歌う CD 制作プロジェクト。ドクさんの詩を歌にした CD を制作して、ドクさんと共に世界平和を祈り、平和を語り継ぐコンサートの語り部の体験を冊子にします。支援金額(5,000 円・10,000 円・20,000 円~)に応じて、制作 CD などの返礼品も用意されています。



ベトナム戦争の枯葉剤の影響で結合双生児として生まれ、7歳で分離手術をした「ベトちゃんドクちゃん」。弟のグエン・ドクさんは現在 43 歳、二児の父。後遺症と闘いながら、医療に従事。ドキュメンタリー映画『ドクちゃんフジとサクラにつなぐ愛』に出演。

NPO 会員で歌手の美地さんは、保育士として知的障がい児施設や児童相談所の勤務を経て、「歌はあらゆる壁を超える」という思いから歌手へ転身、国内外で活躍。「子どもたちに平和を！」の合言葉でドクさんと平和活動を展開中。